

スポーツの始まりとその変遷

今回の学習内容

私たちはさまざまなスポーツの種類を知っていたり、観戦したり、また体験したりしています。その、私たちの周りにある身近なスポーツとは何でしょう？ 今回は、競技のルーツをとおしてスポーツとは何かを学んでいきます。そしてどのような理念のもとにスポーツが発展し、世界にひろがっていったのかを一緒に学習していきましょう。

講師
武市可奈子

壇蜜 先生

(学習メモ執筆)

スポーツの始まりとその発展

スポーツのルーツとは？

動物のメタ・コミュニケーション行動がスポーツの始まりと言われています。その後古代文明がおこると、それぞれの文明で民族スポーツがうまれました。民族スポーツの例を挙げながらスポーツの始まりについて学んでいきます。

メタ・コミュニケーション行動

【動物の約束事が取れている行動】



民族スポーツ

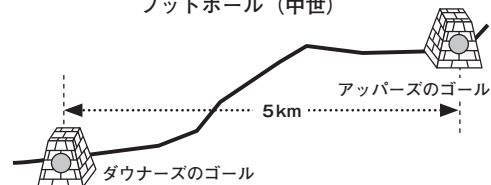
【各地域の伝統的文化からうまれる】

民族スポーツの変遷と近代スポーツ

民族スポーツだったフットボール

(ルールがほとんどない) けが人続出…

イギリスのアッシュボーンで行われていた
 フットボール (中世)



19世紀イギリスのパブリックスクール

コントロールされた秩序のあるものに整備



大学で統一ルールが制定

近代スポーツとしてさらに発展

近代スポーツから国際スポーツへ

イギリスで形成されたスポーツの概念がクーベルタン*によってひろまり、スポーツ振興の機運が世界で高まりました。そして、国際スポーツがひろまっていったことを学びます。

*：ピエール・ド・クーベルタン

- イギリスで生まれた近代スポーツを世界の文化、国際スポーツにするのに貢献。
- 国際平和のためにスポーツを推奨し 1894 年国際オリンピック委員会 (IOC) を設立した。